

CREATIVE PROBLEM SOLVING IN SCHOOLS



学校現場における「創造的問題解決能力」育成に関する調査

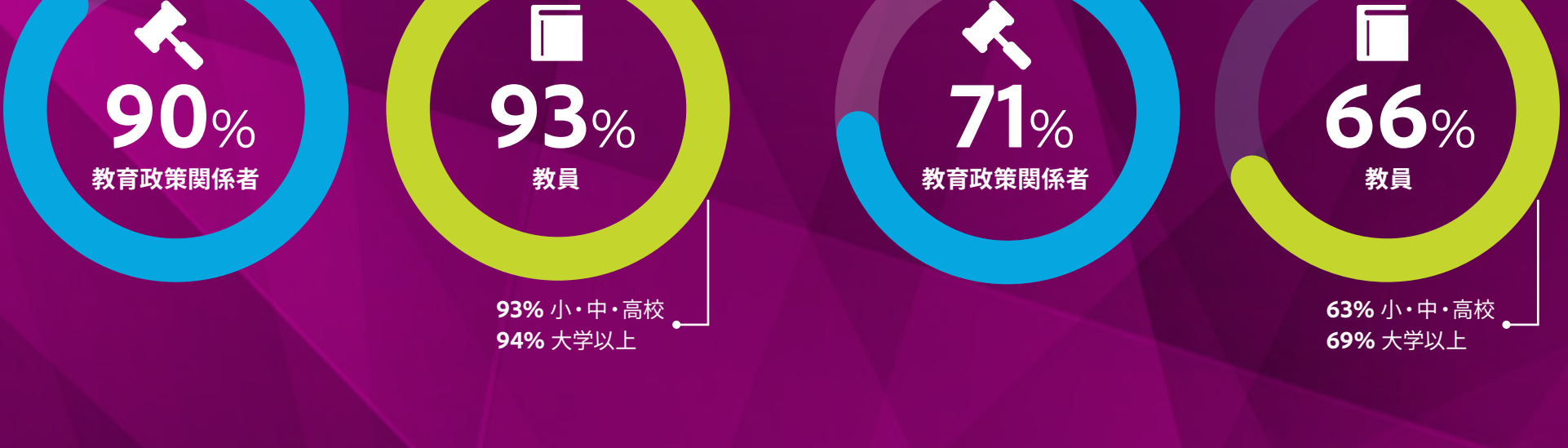
「創造的問題解決」とは、創造性に富んだ革新的な方法で問題や課題に取り組む手法



「創造的問題解決」を学ぶことの重要性は、教育関係者に広く認識されている

生徒や学生が「創造的問題解決」を学校で学ぶことは重要である

「創造的問題解決能力」を必要とされる職業は、人工知能 (AI) などによる自動化の影響を受けにくいと思う



育成すべき「創造的問題解決」能力として、各国とも「成功／失敗からの学習」「自律的学習」を重視、加えて日本では「自己表現と他者との対話」が挙げられている

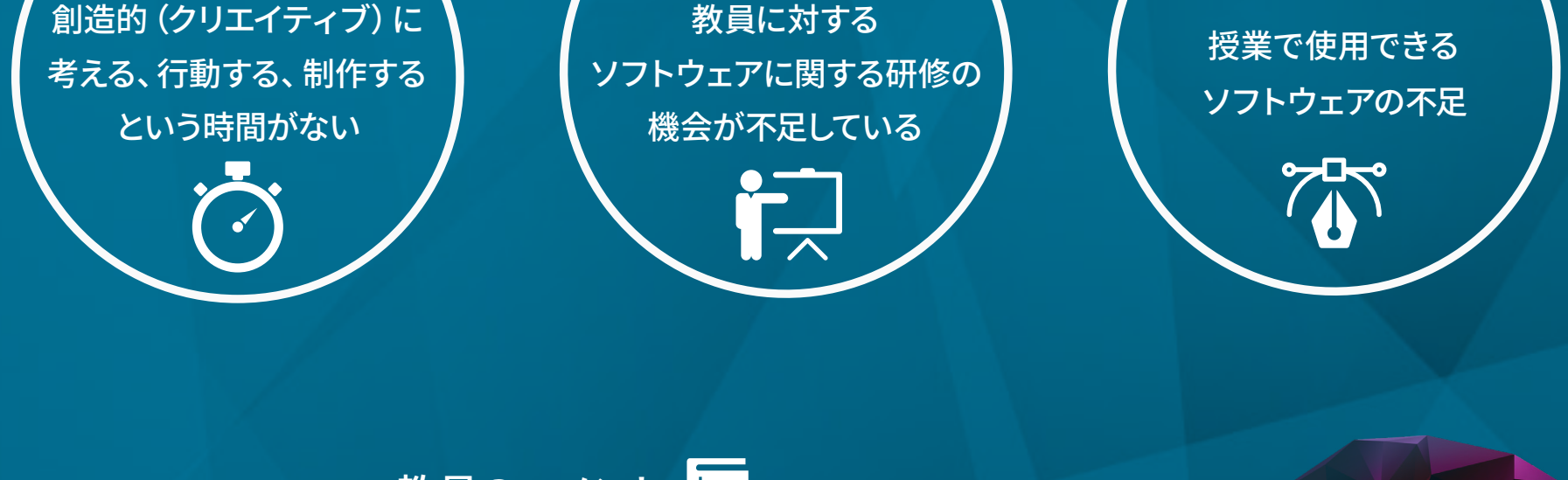


しかし、「創造的問題解決能力」の育成について、現在の学校現場ではあまり実現できていない

「創造的問題解決能力」のアプローチ法は現在の学校のカリキュラムで頻繁に使われている



「創造的問題解決能力」の育成を妨げる主な要因



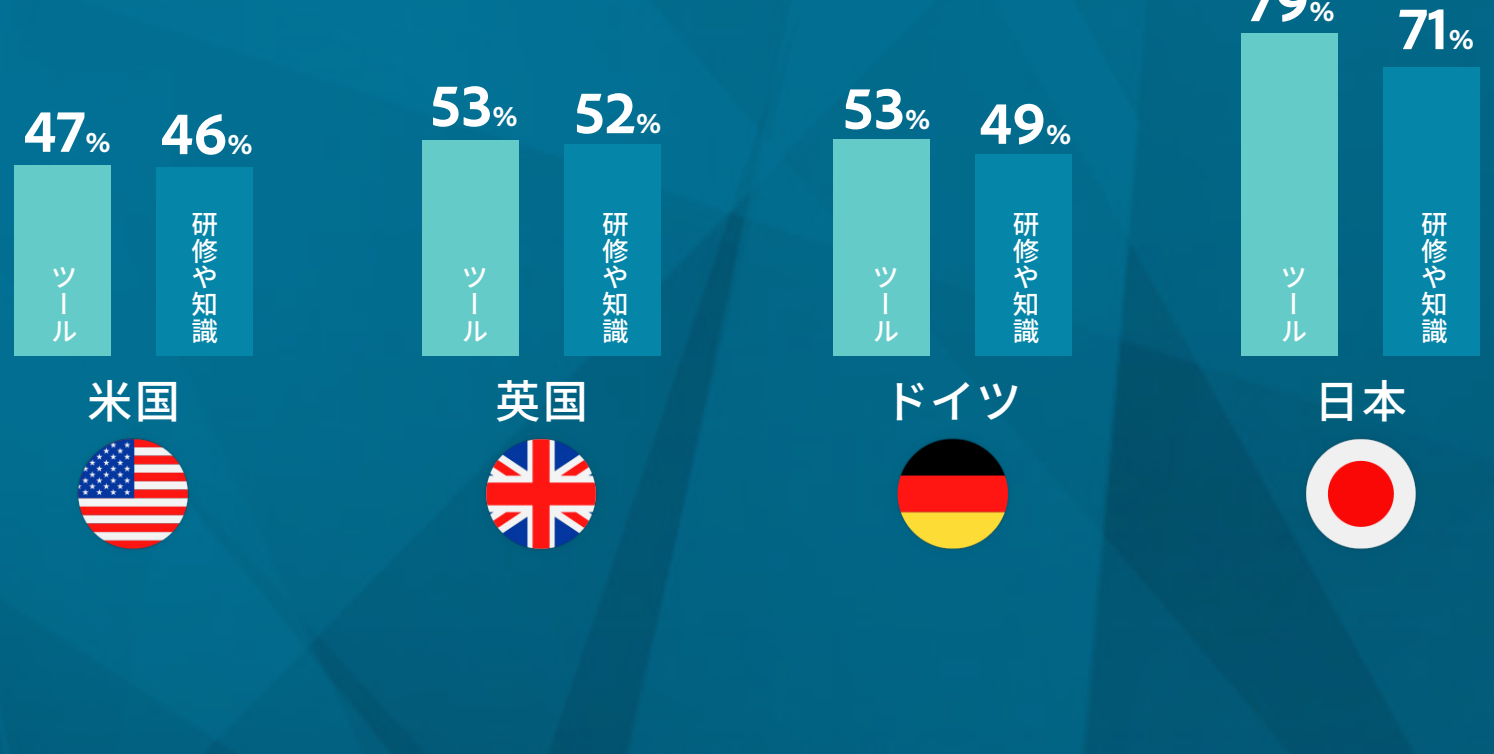
教員のコメント

- 教科の授業時数や教えるべき内容が多すぎて、創造的問題解決能力に時間を当てられない
- 学校で使える予算不足。生徒もだが、教師が使えるパソコンすら自由度がない学校も多い



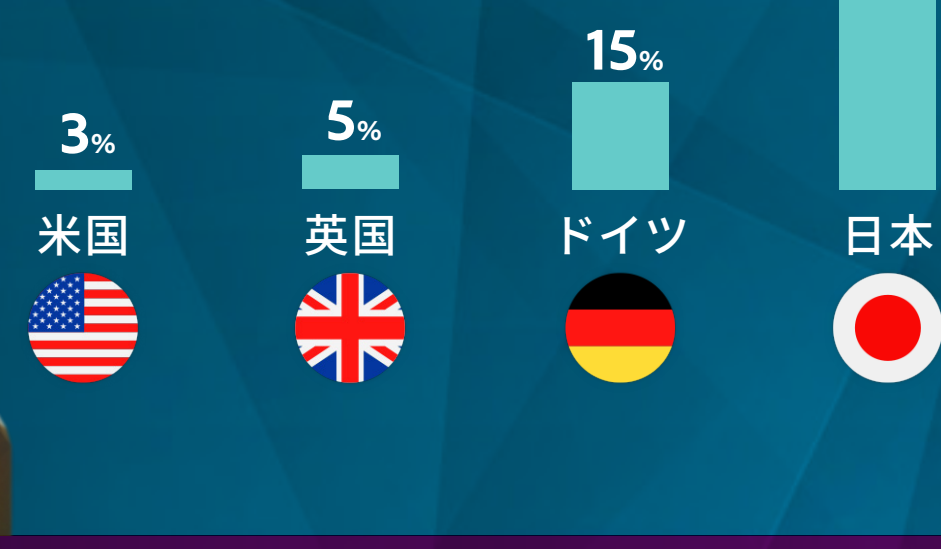
日本の教員は「創造的問題解決能力」育成のツールや知識習得の機会を十分得られていない

「創造的問題解決能力」育成の妨げとなっている要因



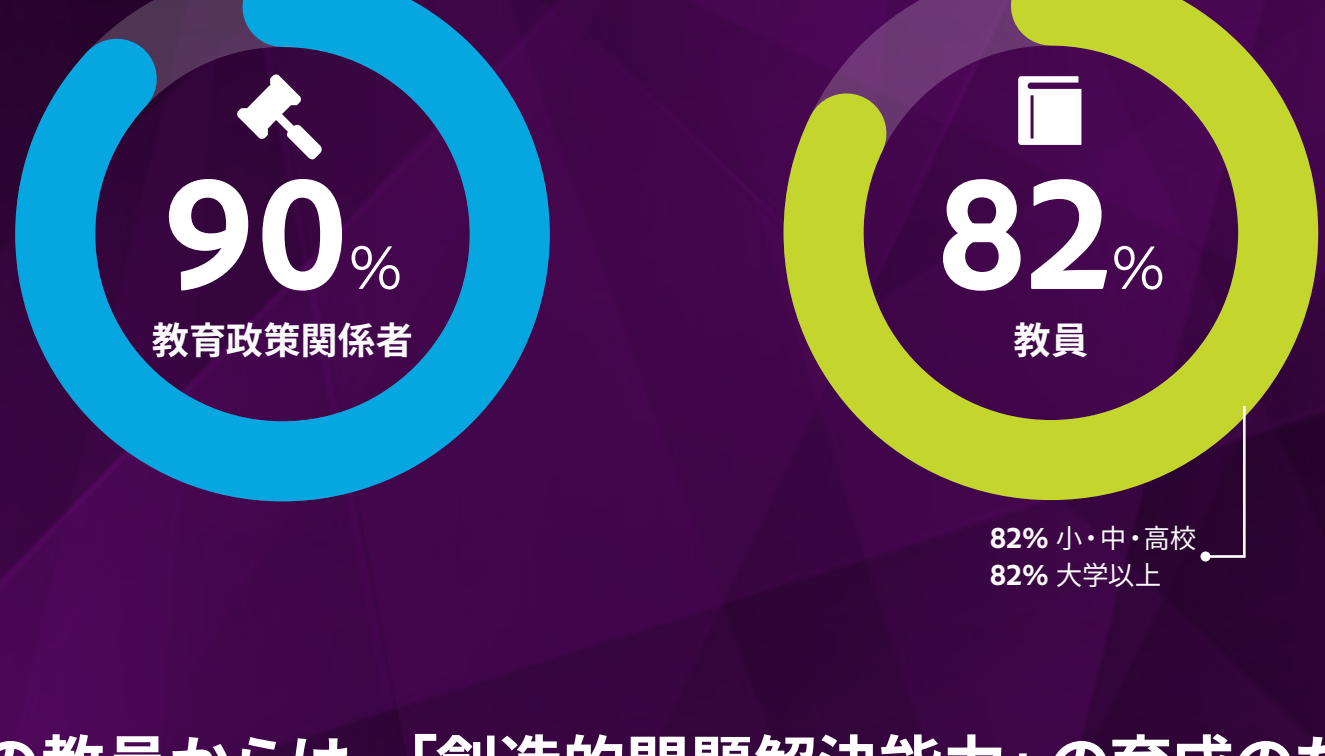
授業で使えるソフトウェアやツールが全くない教員も他国より圧倒的に多い

授業で使えるソフトウェアやツールが全くない教員の割合



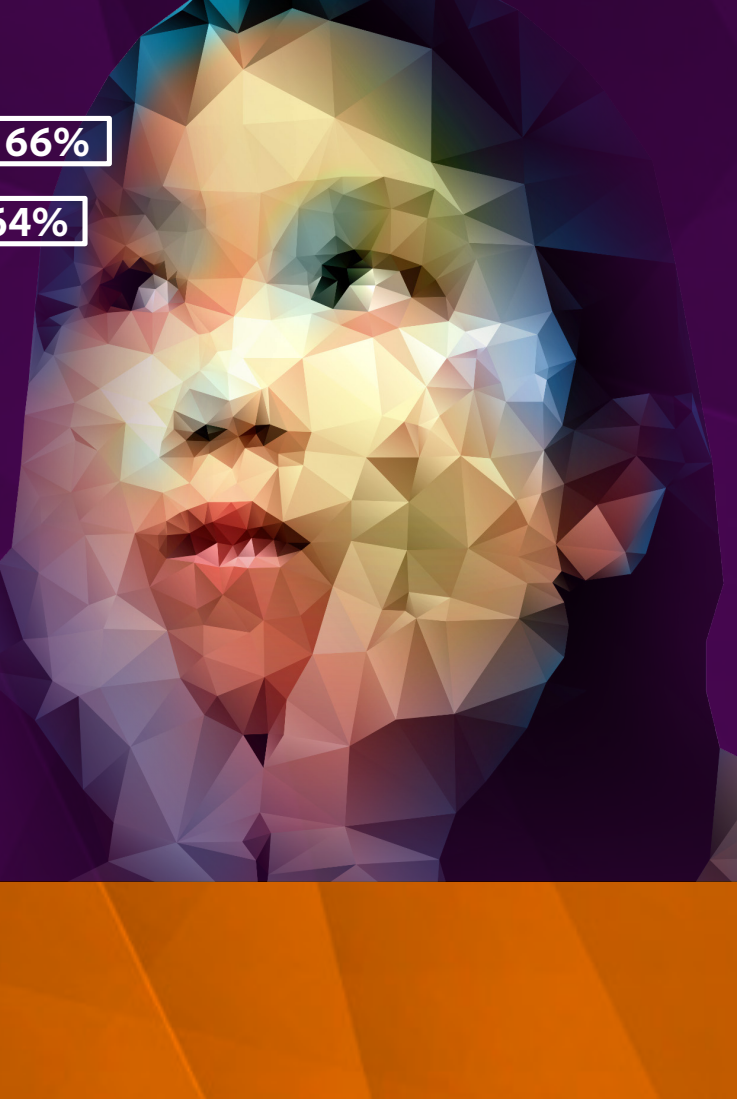
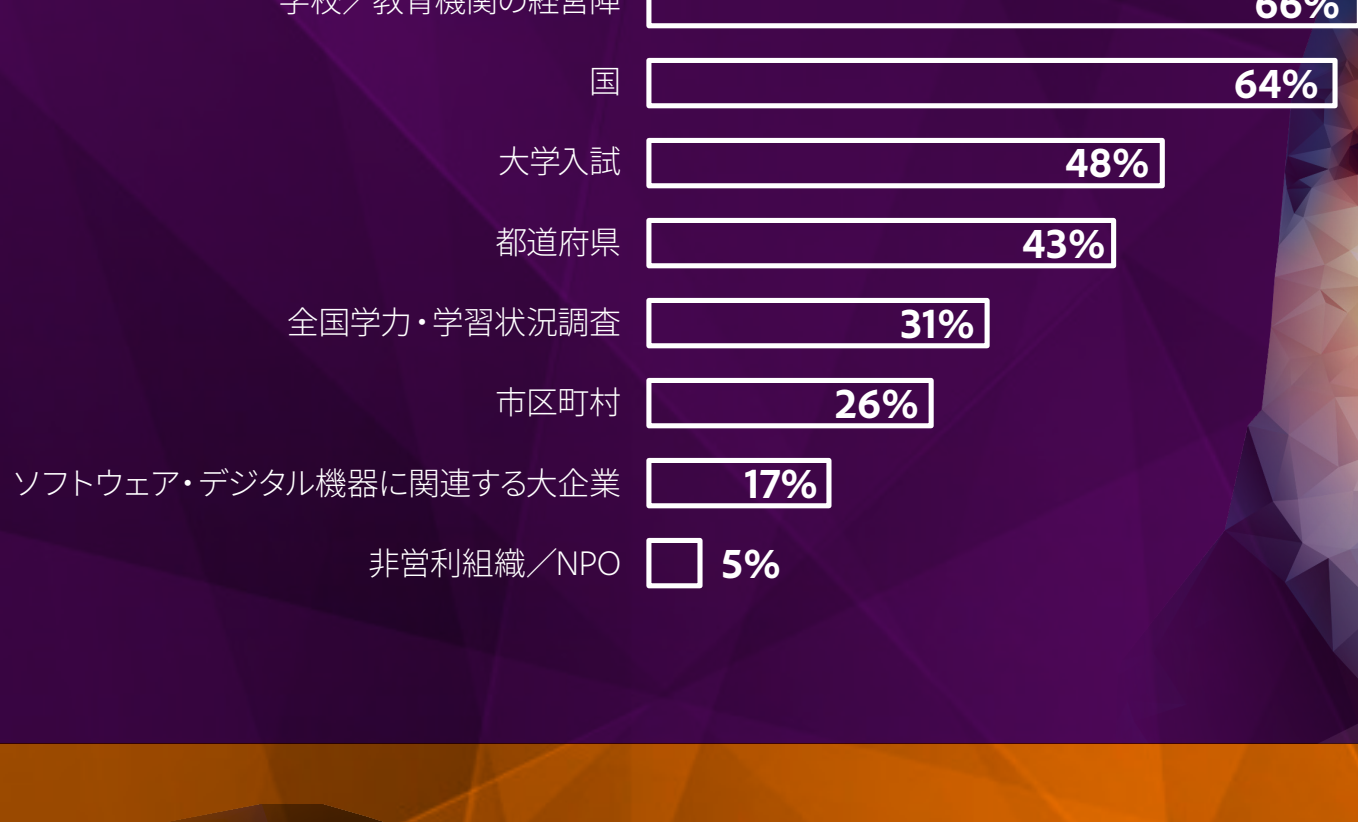
教育関係者は「創造的問題解決能力」を育成する授業を行うには、教育課程の改革が必要だと感じている

教育課程の改訂の検討が必要である



現場の教員からは、「創造的問題解決能力」の育成のために、学校経営陣や国/都道府県による改革と大学入試制度の改革が望まれている

「創造的問題解決能力」を育成できる学校現場作りのために影響力があると思うもの



詳細はこちら <http://cps-japan.adobeeducate.com/>

「学校現場における「創造的問題解決能力」育成に関する調査」について
この調査は米国、英国、ドイツ、日本の初等、中等、高等教育機関の教員400人と教育政策関係者100人を対象として2017年10月にオンラインで実施されました。部分的に国際比較を行っています。